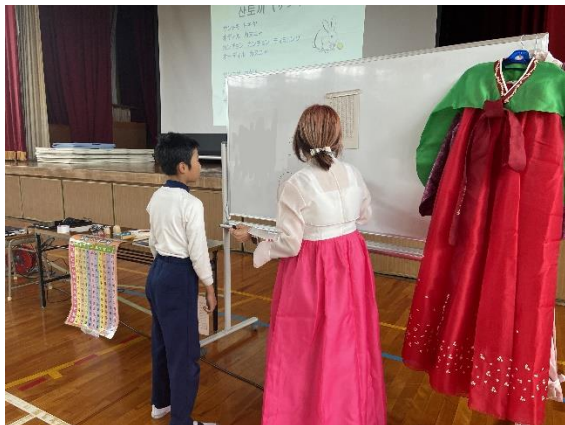


# 近い国・韓国

5月1日(水)菅生小学校で、国際理解出前講座を実施し、6年生46名が参加しました。講師は、韓国・釜山出身の孫珠美さんです。

孫さんの「日本から韓国までどのくらいかかるかわかりますか?」との質問に、口々に答える児童たち。「5時間!」「10時間!」なんて声もありましたが、孫先生の故郷・釜山から関空の距離は約580km、飛行機に乗ると1時間半ほどで行けると聞き、驚きました。まさしく「近い国・韓国」ですね。



また、韓国語のあいさつも教えてもらいました。韓国では、「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」の区別はなく、全て「アンニョンハセヨ」であること。そして、自己紹介の韓国語も学びました。韓国ドラマ等で何となく耳なじみのある韓国語ですが、多くの言葉が日本語と同じだったり、とても似ていたり、ここでも「近い国」であることを確認しました。そして、ハングル早見表を孫さんからいただき、各々の名前をハングルで書く練習もしました。慣れない文字、初めての経験に戸惑いながらも楽しく真剣に取り組む姿が印象的でした。日本語を学ぶ外国の方々もこんな感じなのかもしれないですね。

その後、みんなで代表的な童謡「サントキ(野うさぎ)」を歌いながら踊りました。

そして、みんなの大好きな食べ物のお話。焼肉やサムギョプサルやたくさんの種類のキムチ、1つの料理を注文したら食べきれないほどの小鉢が提供される「韓定食」など。

魅力的な韓国文化をたくさん紹介していただきました。

